

風流印字

●発行 (株)和歌山印刷所

■本社

〒640-8412 和歌山市狐島609-9

TEL.073-451-4111 FAX.073-452-2631

■東京営業所

〒100-004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル 3階

TEL.03-6658-8440 FAX.03-6658-8441

●発行年月日 2020年12月1日

気がつけばあっという間に年末です。

こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。

1か月後には新年恒例の初詣等の行事がありますね。

今月は、神社等の「新型コロナに関する初詣の対策」についての特集です。

■初詣

今年は新型コロナウイルスの影響で、さまざまな場面で感染防止対策がとられ、例年どおりにはいかないことばかりでした。大人数が集まるイベントは特に難しく、実施するには多くの配慮が必要になっています。それは今度の初詣も例外ではありません。

■和歌山の初詣

和歌山市の有名なお寺、紀三井寺でも、感染防止対策が実施される予定なので、例年とは違った様子になりそうです。入場制限は難しいと思われませんが、アルコール消毒液の設置、鳴り物の一時撤去、一般の方の除夜の鐘撞きは遠慮していただく、縁起物は年内から販売する等、少しでも接触を減らせる方法を考えられています。那智勝浦町の熊野那智大社でも、消毒液の設置、入場制限、鳴り物の紐や手水舎の柄杓撤去、祈祷時間の短縮等、同様に感染対策が実施される予定です。

また、和歌山県神社庁からは、参拝についての新しいガイドラインも公開されています。

■これからの初詣

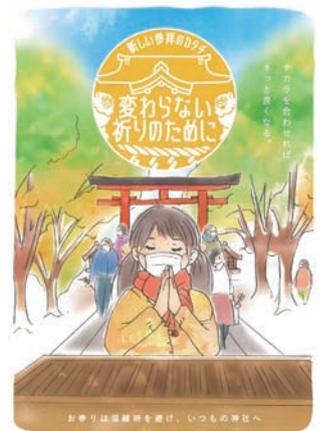
初詣という縁日には、例年多くの方が参拝されていると思います。しかし年が明けてからも、初観音、節分、初午といった縁日もあります。もちろん初詣も大切ですが、この機会に初詣以外の縁日にも目を向け、自分なりの「新しい参拝様式」を作ってみてはいかがでしょうか？



「熊野那智大社」



「紀三井寺」



「新しい参拝のカタチ」

総務3人娘がお届けする

わいわいインタビュー



私たち総務3人娘が、社員の経験談を毎月レポートします。今月のゲストは、印刷部の西山直杜さんです！

■仕事で得た達成感は何ですか？

ひとつの仕事ミスなく作業できた時に達成感を感じます。また、自分で印刷した商品を書店などで見た時には更に達成感があります。その商品を手に取って見てくれている方がいると実感が湧き、嬉しく思います。

■苦労したエピソードはありますか？

入社当時は印刷に関する知識が全くなかったのが覚えることが多くて苦労しました。現在は、経験を積みながら印刷機を動かしていますが、故障した時などには柔軟な対応が取れず苦労します。機械のトラブルが起こった時に対応する引き出しはまだです。

■つらかったことを乗り越えた工夫って？

印刷のミスでクレームがあった(お客様に迷惑をかけた)時は、落ち込みます。しかし、自分の技術不足であり、改善する機会を与えられたと考えることで乗り越えています。また、他の印刷機のトラブルも他人事と思わず、先輩方の対応を見て自身で活かせるようにしています。



印刷部
西山 直杜さん
(入社4年目)

パワーリフティングをしている西山さん。そのパワーを活かして日々仕事をしています。



印刷業界の難解「あるある」をご紹介！

あるある印刷では、難解な事件(トラブル)が発生している。今日もまた、天然系工場長のもとに新たな相談が持ち込まれるのであった…。

あるある印刷の事件簿



事件ファイル10 「解像度」

印刷オペレータ：「工場長、大変です！パンフレットを印刷していたら画質の悪いところを見つけました！」

工場長：「すぐにそのパンフレットを持ってこい！」

印刷オペレータがそそくさと持ってきた。

工場長：「ん？この画像は校正紙でも粗いな。解像度が低いんじゃないか？」

印刷オペレータ：「解像度ってどういうことですか？」

工場長：「ざっくり言うと解像度が低いと粗い画像、高いときめ細かい画像ということだ。この画像を制作部で確認してもらえ！」

印刷オペレータ：「確認してもらったところ工場長の読み通り解像度が低い画像データでした。解像度の高い画像データで再入稿するようです。」

工場長：「じゃあ今日は徹夜で作業すれば、なんとか間に合うから、みんな頑張ろう!!!」

印刷オペレータ：「とほほ・・・(涙)」

こんなトラブル

わいんの対策はこれ！

解像度とは画像の精度のことです。デジタルカメラで撮影した写真などをパソコンで拡大していくと、細かな点がたくさん集まって表示されます。すべてのデジタル画像は、この細かなドットの集合体でできています。解像度とはこのドットが1インチ(2.54cm)の中にどれだけの密度で集まっているか数値化したもので、dpi(dot per inch)という単位が使われています。

カラー印刷の場合、解像度は原寸サイズで350dpiが適切です。お客様の中には、印刷に使用する画像データをホームページから取得してほしいという依頼があります。しかし、WEBで表示される解像度の目安は72dpiのため、モニター上では綺麗に表示されていても、印刷用途としては適さない場合がほとんどです。わいんでは、画像編集の専門部署があり、**画像のチェックを必ず行なっています**。解像度が低い画像があった場合は、お客様に高解像度の画像をいただくようにしています。



我ら、NLスタッフ!!

ニュースレター

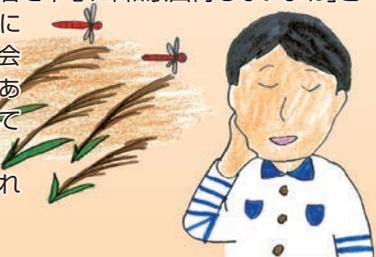


和歌山の絶景スポットでリフレッシュ 和田友敦(制作部係長:39歳)です！

先日、何年かぶりに生石高原に行ってきました。新型コロナウイルスが流行りだしてから遠出する機会も減り、飲みにも行かず完全な自粛モードでしたが、家族揃って久々のお出かけに子供達も喜んでくれ、とてもリフレッシュすることができました。

金色の絨毯とも言われるススキが見頃を迎えた時期ということもあって観光客も大勢おりましたが、ソーシャルディスタンスを保ちながら大自然を満喫しました。若者を中心に「和歌山何も無いよね」とよく耳にしますが、広大な自然に囲まれた和歌山だからこそ都会にはない絶景スポットが沢山あります。これを機に穴場巡りしてみようと思います。

皆様のオススメスポットがあれば是非教えてくださいね。



嬉しい悲鳴 小島直紀(総務部次長:36歳)です！

今年の7月に赤ちゃんが産まれました。コロナ禍で出産の立ち会いも危ぶまれましたが幸運にも立ち会うことができました。体重は3,844gと出生時の平均体重3,000g前後より大幅に大きく産まれました。そして先日4ヶ月検診があり、その時の体重が9.3kg。これって1歳児の平均体重より重いようです。元気にすくすく育て嬉しい反面、抱っこが本当に辛い。腕と腰がずっと張っています。まだまだ先は長いので身体を鍛えないと大変なことになりそうです。

現状ビッグサイズの息子が今後どう成長していくのか楽しみです。



和歌山印刷所ニュースレター・アンケートのコーナー

今回の記事で印象に残った記事などがありましたら下記のチェックボックスにチェックを入れ、感想をご記入の上でFAXを送っていただくとクオカード(500円分)を抽選でプレゼントいたします。(FAX/073-452-2631)

- 特集「新型コロナに関する初詣の対策」 わいわいインタビュー あるある印刷の事件簿 我ら、NLスタッフ!!

ご意見・ご感想等(御社名/

御氏名/

)

編集後記

中華料理店で「王老吉(ワンラオジー)」という冷たいお茶を飲みました。味をたとえるなら「午後の紅茶」ストレートティーに漢方らしい後味が残るイメージです。調べたところ、生薬入りのお茶、「涼茶(リャンチャ)」の一種で、中国ではかなりメジャーな飲料でした。なるほど冷たいお茶だから「涼茶」かと思いきや、お茶の温度は関係なく、生薬で身体を熱を下げる(中国では風邪など体調不良のことを「上火」と呼ぶ)ことに由来するそうです。半端に知識があると思いきや判断してしまいがちなので、今回は良い勉強になりました。

(編集長: 椿原健太)